

## 2014 年度外国語コンテスト・ドイツ語部門

2014 年度の名古屋語学教育研究室主催第 20 回外国語コンテスト・ドイツ語部門の本選が、2014 年 11 月 25 日（火曜日）の午後 6 時 10 分より名古屋校舎講義棟 8 階にある L804 教室でおこなわれました。その結果を報告したいと思います。

今回は、グリムの童話から、アニメーションでも知られる“Rapunzel”（『ラプンツェル』）を選びました。美しい娘がなぜ囚われているのか、またその名前の由来などがわかる冒頭の部分が課題となっています。

今回は広報がうまくいかず、参加者は 1 年生と 4 年生の 4 名とさみしい結果になりました、この点は大いに反省して来年度はしっかり広報に努めなければなりません。国際コミュニケーション学部所属のグロース先生は本年度は学外研修のため、今回審査にあたったのは、経営学部所属の島田と非常勤でドイツ語の授業をお願いしている鶴田涼子先生です。二人で発表を聞き、表現力と発音・アクセントの合計点で審査をおこないました。

課題テキストは例年に比べやや長め、古風な表現や今では使われない文法もあり文法的にもやや難しめでした。それでも参加者は各自で熱心に練習に取り組んだ様子で、みな上手な朗読を披露してくれました。今回参加者の人数は少なかつたけれども、発表は今まで通り見事なものでした。いずれも優劣をつけがたいもので選考は困難を極めました、その結果入賞者（第 1 位と第 2 位の 2 人）は以下の通りとなりました。

第 1 位（優勝） 樋口祐子さん(国際コミュニケーション学部 4 年生)

第 2 位 倉橋奈巳さん(国際コミュニケーション学部 4 年生)

今回は経験豊富な 4 年生の参加者がわずかな差で入賞しましたが、1 年生の参加者はいずれも今後が楽しみな仕上がりになっていました。ぜひ研鑽を続けその成果を次年度以降に披露してほしいものです。

愛知大学名古屋校舎の周辺では工事が進み、新しい街が生まれる過程を眺めつつ、みなさんは学生生活を続けることとなります。変化することに大きな価値を見つけ、より多く学び、より深く考え、より高い人間性を身につけてくださるよう願っています。最後になりましたが、この場を借りてコンテストの実施に協力と理解をいただいた皆さんにお礼を申し上げます。

（ドイツ語・島田）